

2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	下原・砂古自主防災組織（下原復興委員会）
活動テーマ	平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）を乗り越えた「地域の絆」を後世に繋ぐ ～災害復興記録誌を通じた地域の防災力を高める創縁活動～



私たち下原地区自主防災組織は、平成 30 年 7 月豪雨災害（西日本豪雨）という大きな逆境を乗り越えようと、このたび、住民一人ひとりが紡ぐ「地域の絆」でピンチをチャンスに変える『創縁活動』に取り組んできました。私たちは、先人から受け継いだ「下原のバトン」を「輪」を持って後世へ引き継ぎたいと心をひとつにしています。

【活動実践】

(1) 記憶誌「ふるさとの未来へ～私たちが伝えたいこと～」の作成

- ・明治 26 年、豪雨災害により死者が出る被害を受けたが、当時の史実が形として残っていなかった。
- ・先人たちが向き合った豪雨災害時のことを思い浮かべ・考える必要がある。
- ・地区全体が立ち向かった平成 30 年 7 月豪雨災害の記憶を後世に伝える義務がある。
- ・多くのボランティアをはじめ支援者に感謝の意を伝えたい。

以上のことから、地域住民の想いを紡ぎ、後世に引き継ぐ「記憶誌」を作成しました。

また、記憶誌は、全世帯に加え、市内の小中学校にも配布し子どもたちの「防災教育」にも活用します。

(2) 復興イベント「みんな神輿と災害資料展」の開催

- ・地域を愛する気持ちや伝統行事に触れる機会を創ることで子どもたちの笑顔が見たい。
- ・行事の開催とともに、防災意識に触れる（災害浸水標識や災害石碑など）機会を創りたい。

以上のことから、子ども神輿用の山車を整備し、地域交流行事（みんな神輿と災害資料展）を開催。

■今回の取り組みを通して、改めて「地域の絆」の素晴らしさや地域を絶やさないための“ヒント”に出会えたように感じました。これからも「下原のみんなで・笑顔で！」がんばります。